

大阪・船場、
くすりの町の落語会

道修町 たなみん寄席



初めまして。
たなみんです！

第1回「水の都、大阪の夏」

夏の大阪といえば、今も昔も船遊び。
粋で、華やかで、ちょっと滑稽な夏の風物詩を、落語でたっぷり楽しんでください。

落語



桂九雀
「遊山船」



笑福亭たま
「船弁慶」

開口一番
桂弥っこ

お囃子
岡野鏡

講演



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)
「落語に見る
水の都のすがた」

6/17 (土)

2:00PM~

入場料 1,000円(資料代込み)

定員 150名(要申込・先着順)



大阪・船場、くすりの町の落語会

道修町たなみん寄席

「たなみん」って？

ふわふわで真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。

ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、起きたときには病が治っている、こともあるとか。田辺三菱製薬のキャラクターとして活躍中！

大阪の夏の遊びは、粋で、華やかで、おもしろかった。



夏の大阪といえば、今も昔も船遊び。今回から始まる「道修町たなみん寄席」第1回では、夏の大阪を彩った船遊びの登場する落語2席をお楽しみいただきます。また、講演では、大阪の歴史研究者である高島幸次先生に、さまざまな史料や絵図を紹介しながら、落語ネタの背景となったかつての水辺のにぎわいを解説していただきます。

粋で、華やかで、ちょっと滑稽な夏の風物詩を、お囃子も入るにぎやかな落語と講演でたっぷり楽しんでください！

「川崎ノ渡シ月見景」(「浪花百景」より)
大阪府立中之島図書館蔵

「道修町たなみん寄席」開催にあたって。

船場の道修町に新本社社屋が竣工してから、早2年が経ちました。同ビル内の「田辺三菱製薬史料館」には、2年間で約15,000人の方にご来館いただき、延宝6年(1678年)に創業した当社の歴史を中心に、「くすりの町 道修町」についても親しんでいただきました。

製薬会社の社会的責務は、「世の中に役立つ薬を研究・開発し、人々の健康に貢献すること」がまず第一です。当社が300年以上続いているのは、その使命を果たし続けているからだと思っています。一方、専門的で内向きな業界と見られがちで、世間から理解されにくい面があるようです。



田辺三菱製薬株式会社
取締役会長
土屋裕弘

そんな現状を打破すべく、私たちは地域のみなさんに当社のことを知ってもらう機会を、これからも企画したいと考えています。それが史料館であり、今回開催する「道修町たなみん寄席」です。上方落語を通じて、「くすりの町」の歴史を楽しく学んでお帰りください。

第1回「水の都、大阪の夏」桂九雀「遊山船」笑福亭たま「船弁慶」ほか

日時 6月17日(土) 2:00PM~4:00PM頃(受付開始1:00PM~)

会場 田辺三菱製薬本社

入場料 1,000円(資料代込み) 定員 150名(要申込・先着順) ※定員に達し次第締め切ります。

ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームからお申し込みください。

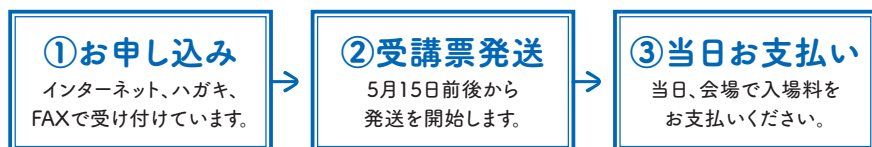
ハガキ、FAXでお申し込みの方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数(応募1通につき4名まで)を明記の上、下記までお送りください。

なお、複数名でご参加希望の場合は、代表者の方の必要事項を明記してください。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-4799-1341

<http://www.tanamin-yose.net>

◎ご参加までの流れ



お申し込み先着順に整理番号を発行し、当日はその番号順にご入場いただけます。整理番号は受講ハガキに記載していますので、必ずご持参ください。

※受付開始時間より前にお越しいただいても、早く入場できるわけではありません。

お問い合わせ ☎06-4799-1340

(道修町たなみん寄席事務局・株式会社140B内)

主催/田辺三菱製薬株式会社 企画・運営/株式会社140B



道修町の歴史がよくわかる
田辺三菱製薬史料館を
見学いただけます。

